

第1学年生活科学学習活動案

1. 単元名「とびだせ あそびたい～あきいっぱい〇〇〇ランド～」

2. 指導観

○ こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、明るく元気で外遊びが好きな子どもが多い。校庭で草花遊びや虫見つけ、木の実や落ち葉遊びなどを楽しんでいる子どもたちもいる。あさがおを育てる過程を通して植物の変化にも関心を持つようになってきている。あさがおの種とりやリース作り、公園での虫探しなどをきっかけにして季節の変化を感じる子どもたちも増えてきている。

松の木に囲まれた校庭で、松葉やまつぼっくり等を集めて遊ぶ子どもたちがいるが、まだ遊びの幅が限られている。また、放課後の子どもたちの遊びは、テレビやゲーム等の室内遊びに偏りがちで、一部には戸外で元気に遊ぶ経験が十分でない子どもたちもいる。

休み時間などは、友だち同士で遊ぶことも多く、ルールを作り、遊ぶ楽しさを感じ始めている子どもたちも多い。しかし、まだルールが理解できないため、自分の思いをうまく伝えられず、楽しく遊べない子どもたちもいる。

○ このような学習で

本単元では、子どもたちが、自然の動植物の様子に関心を持ち、季節の変化を体感しながら、友だちと楽しく遊べることをねらいとしている。そこで、地域の遊び場で自然に触れ合い友だちと楽しく遊ぶ活動をする。そして、子どもたちが集めた木の実や落ち葉などを使って、遊びを計画したり、ものづくりに取り組んだりするようにする。その楽しさを表現することで喜びを味わうことができると考える。生活空間を家庭・学校から地域へと広げていく過程にある子どもたちにとって、公共施設の使い方を知り、楽しみながら季節の変化に気づくことのできる活動や地域の遊び場で自然や生き物と楽しく遊ぶ活動は意義深いと考える。

本単元の小中連携教育の視点

この学習は、国語科で培った話す・聞く系統表の「具体物を使って相手に分かるように話す」「話し手の方を向いて最後まで聞く」「大事なことを落とさずに聞く」を運用しており、中学年の内容につながる上でも意義深いと考える。

○ このような支援で

子どもたちの実態から、私たちは子どもたちに自然と触れ合い、楽しむ機会を増やすことが必要であると考えた。そこで合計4回、自然公園に連れていく。1回目から3回目までは身近にある同じ公園を訪れ、地域の公園にも関心を持つようにする。訪問の間隔を1ヶ月開けることと同じ場所を訪れることで季節の変化を感じ取りやすくする。4回目は木の実などを採集するため、遠くにある大きな自然公園を訪れ、自然素材を生かした遊び・ものづくりの活動につなげる。活動の中で交流や振り返りの場を設定することで、国語科の学習で培った「話すこと・聞くこと・話し合うこと」の力を伸ばすことができると考える。

3. 目標

- 身の回りの自然に触れ合い、自分の生活や遊びを豊かに広げることができる。
- 草花・樹木・虫などに関わり、季節の変化を感じ取ることができる。
- 公共施設の使い方を知り、安全に遊ぶことができる。
- 遊びで工夫・発展させたことを、友達に分かるように話したり、興味を持って聞いたりすることができる。

4. 学習活動の展開と支援計画（24時間）

学習活動と内容	支援の工夫と留意点
<p>1. 学習課題Ⅰを決める。 ①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>こうえんでたくさんのものをみつけて、あそぼう。</p> </div> <p>2. 公園で遊ぶ。(1回目) ②</p> <p>3. 公園で遊ぶ(2回目) ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しかったことを想起して、もっと楽しく遊ぶ計画(めあて)を立てる。 ○ 自分のめあてをもって公園に行く。 ○ 発見したことを伝え合う。 <p>4. 公園で遊ぶ。(3回目) ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 秋さがしに公園に行く。 ○ 夏との違いを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ◇◇◇緑化公園に行くことを知らせる。 ○ 公園の写真を見せて関心を持たせ、何をするか考えさせる。 ○ 前時の計画をもとに遊ぶよう助言する。できない場合は何ができるか感じ取らせる。 ○ 写真を見せ、何が楽しかったか想起しやすい場を作る。一人一人の興味・関心に応じてめあてを立てるよう助言する。(虫を見つける、花をつむなど) ○ めあてに沿って遊ぶことができているかを観察し、困っている子どもには場に応じた助言をする。 ○ これまでの公園との違いを発見しやすいように視点を決めておく。
<p>5. 学習課題Ⅱを決める。 ①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>このはやきのみでたのしくあそぼう。</p> </div> <p>6. 公園で遊ぶ。(4回目) ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 木の葉や木の実を収集する。 <p>7. 計画を立て、制作に取り組む。 ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小グループごとにみんなで楽しめる遊びやものづくりを計画し、制作する。 ○ 中間発表会の準備をする。 <p>8. 中間発表会をする。(1年〇組本時) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科で学習した発表のポイントを生かす。 <p>9. 制作に取り組む。(1年〇組本時) ①</p> <p>10. 学級で交流する。(1年〇組本時) ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品や遊びを楽しむ。 <p>11. 交流したことを広める。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達やお家の人に手紙を書く。 <p>12. 学年全体で交流する。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作品や遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ □□公園でたくさんの木の葉や木の実を集めることを知らせる。 ○ 木の葉や木の実で何ができるかを図に描き、計画に基づいて収集する。 ○ 計画の似ている子ども同士をグルーピングする。協力し合うように助言する。 ○ 名前をつけて取り組ませ、意欲を高める。 ○ 本時で国語科と関連させる発表のポイント <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口を大きく開けて話す。 ・ はっきりと聞こえる声で話す。 ・ 聞き手の方を向いて話す。 ・ 作品を指しながら話す。 ・ 話し手の方を向いて聞く。 </div> ○ ワークショップ形式で交流する。学級での仕方を参考にするように助言する。

本時学習活動案（20／24）

公開授業 I

1. 本時の目標

- 友だちに自分の作品や遊びを紹介することを楽しむことができる。
- 友だちの作品や遊びのよさに気づくことができる。

2. 本時の支援にあたって

本時の仮説

国語科で学習した発表のポイントを生かして自分の作品や遊びを紹介することで、作品や遊びのよさをうまく伝えることができるであろう。

子どもたちは前時までに「あきいっぱい○○○ランド」と題した自然素材を生かした遊び・ものづくりを計画し、制作している。そして、自分たちの作品や遊びを伝える準備をしてきた。

- 子どもたちがみつけるよさ
 - ・ どんな材料を使っているか。
 - ・ どんな工夫をしているか。

本時は、前時までに制作した作品や考案した遊びを紹介する時間である。これまで子どもたちは自分たちのグループの作品づくりに精一杯で、他のグループの作品に目が向いていない。そこで本時では、他のグループの発表を聞く。そしてその発表から、どんな材料を使ってどんな工夫をしているかといったよさを見つけることで、次時からの自分達の作品や遊びの改良、再制作に生かすことをねらいとしている。

今回の発表会では、国語科で学習した発表のポイントを生かす。

- 発表のポイント
 - ・ 聞き手の方を向いて話す。
 - ・ 口を大きく開けて話す。
 - ・ はっきり聞こえる声で話す。
 - ・ 作品を指しながら話す。

まず、前時までの学習の様子を見て、あらかじめ決めておいた代表グループにポイントに沿った発表をさせる。どのような発表をすればよいのか具体的に見せる。このとき、発表ごとに発表された作品や遊びのよさをカードに書くようにする。よさが書けない子どもがいればどんなところが面白いかを書くように助言する。最後に、すべてのグループの発表が終わった後、どんなよさが見つかったのかを確認し、次時に自分たちが制作したいもの、工夫したいことを感想として書くようにする。

本時の小中連携教育の視点

本時は、国語科で培った◇◇小・◇◇中話す・聞く系統表の「相手に分かるように具体物を使って話す」「口を大きく開けて話す」「はっきり聞こえる声で話す」「聞き手の方を向いて話す」を運用する。これは中学年の話す力に発展していくための基礎となるものである。

3. 準備

- （教師）発表のポイント表、発表会の流れ、生活科カード（本時振り返り分）
- （子ども）筆記用具、発表原稿、作品、遊びの説明図

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導上の工夫と留意点
<p>1. 本時のめあてをつくる。</p> <div data-bbox="153 248 780 344" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はっぴょうかいでじぶんたちのがんばったところをつたえよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ よさのポイントを知る。 <div data-bbox="205 394 568 495" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の使い方 ・ 工夫しているところ </div> <p>2. 発表のポイントと発表会の流れを確認する。</p> <p>(1) 代表グループが発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科で学習した発表のポイントに沿ってよかったところを挙げる。 ○ 発表のポイントを確認する。 → <div data-bbox="874 584 1377 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手の方を向いて話す。 ・ 口を大きく開けて話す。 ・ はっきり聞こえる声で話す。 ・ 作品を指しながら話す。 </div> <p>(2) 発表会の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き手側は、発表された遊びや作品のよさをがんばりみつけカードに書く。 <p>3. 各グループが発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表会の流れ <div data-bbox="205 1115 711 1211" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 発表する。 ② 聞き手はよさをカードに書く。 </div> <p>※ 各グループごとに①と②を繰り返す。</p> <p>4. 本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感想を生活科カードに書く。 ○ よさのポイントに沿って、どんなよさが見つかったのかを全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中間発表会をする意味は前時まで伝えてあるので、めあてを子どもたちでつくるようにする。 ○ 学習掲示物を指し示し、発表のポイントへの意識を高める。 ○ 国語科と関連させる発表のポイントを教室に掲示しておく。 <div data-bbox="874 584 1377 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手の方を向いて話す。 ・ 口を大きく開けて話す。 ・ はっきり聞こえる声で話す。 ・ 作品を指しながら話す。 </div> ○ 発表会の流れを黒板に掲示する。 ○ カードの書き方を黒板に掲示し説明する。 ○ よさを見つけられない子どもには、どんなところが面白いかを書くように助言する。 ○ 発表のポイントに沿って発表できていることを褒める。 ○ 各グループ5分以内に終わるようにする。 ○ 次時以降に制作したいもの、工夫してみたいことを書くように助言する。 ○ 書いたことをいくつか取り上げることで、書くことが進まない子どもの参考にする。

5. 板書計画

<p>あきいっぱい○○○ランド</p> <p>めあて</p> <div data-bbox="161 1659 738 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>はっぴょうかいでじぶんたちのがんばったところをつたえよう。</p> </div> <p>はっぴょうかいのながれ</p> <div data-bbox="161 1805 810 1901" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> ① はっぴょうする。 ② ききてはおもしろいところをカードにかく。 </div> <p>まとめ</p> <div data-bbox="161 1951 651 1995" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんなよさが見つかったかを書く。</p> </div>	<p style="text-align: center;">カードのかきかた</p> <div data-bbox="967 1608 1430 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">⑥</td> <td style="text-align: center;">⑤</td> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td>が</td> <td>が</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ん</td> <td>ん</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ば</td> <td>ば</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>っ</td> <td>っ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>た</td> <td>た</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>と</td> <td>と</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>こ</td> <td>こ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ろ</td> <td>ろ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>な</td> <td>な</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ま</td> <td>ま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>え</td> <td>え</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(</td> <td>(</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>み</td> <td>み</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つ</td> <td>つ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>け</td> <td>け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>カ</td> <td>カ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ー</td> <td>ー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ド</td> <td>ド</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>)</td> <td>)</td> </tr> </table> </div>	⑥	⑤	④	③	②	①	が	が							ん	ん							ば	ば							っ	っ							た	た							と	と							こ	こ							ろ	ろ							な	な							ま	ま							え	え							((み	み							つ	つ							け	け							カ	カ							ー	ー							ド	ド))
⑥	⑤	④	③	②	①	が	が																																																																																																																																																		
						ん	ん																																																																																																																																																		
						ば	ば																																																																																																																																																		
						っ	っ																																																																																																																																																		
						た	た																																																																																																																																																		
						と	と																																																																																																																																																		
						こ	こ																																																																																																																																																		
						ろ	ろ																																																																																																																																																		
						な	な																																																																																																																																																		
						ま	ま																																																																																																																																																		
						え	え																																																																																																																																																		
						((
						み	み																																																																																																																																																		
						つ	つ																																																																																																																																																		
						け	け																																																																																																																																																		
						カ	カ																																																																																																																																																		
						ー	ー																																																																																																																																																		
						ド	ド																																																																																																																																																		
))																																																																																																																																																		

本時学習活動案（21 / 24）

公開授業 I

1. 本時の目標

- 前時の学習を受けて工夫しようと考えたところを、お互いに聞き合うことができる。
- グループの人と教え合ってさらに工夫をし、作り上げた喜びを味わうことができる。

2. 本時の支援にあたって

本時の仮説

工夫するところを聞き合う場において、国語科で学習した友だちの話を聞くポイントを生かすことで、さらに工夫する活動が深まり、作り上げた喜びを持つことができるであろう。

前時までに「あきいっぱい〇〇〇ランド」をつくる計画をたて、遊ぶ内容やつくる内容が似ているところでグループをつくり制作活動をしてきた。そしてこの制作活動にあたっては、各自またはグループの作品の紹介をし合い、自分の作品でさらに工夫したいところを考えてきている。

本時は、自分の作品で工夫したいことをみんなに伝え、作品を作り上げる時間である。そこで、本時の支援にあたっては、自分の生活科カードをもとにこれから工夫しようとすることをみんなに知らせる。そしてお互いに教え合いながら、さらに工夫を重ねて作り上げていく。みんなに自分のこれからする活動を伝える際は、自分の取り組みで工夫したことや苦勞したことを中心に知らせることで、さらに聞く側も自分の取り組みにさらなるアイデアを生み出すきっかけにする。さらに制作途中に教え合い活動も時々取り入れ、次の意欲へと高めていきたい。

本時の小中連携教育の視点

本時は、国語科で培った◇◇小・◇◇中話す・聞く系統表の「話し手の方を向いて最後まで聞く」を運用する。この力は、中学年の聞く力に発展していくための基礎となるものである。

3. 準備

- (教師) 各グループの活動計画カード・前時の発表し合っている写真
ボンド・カッターナイフ・マジック
- (子ども) 生活科カード・筆記用具・制作に必要な道具や材料

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導の工夫と留意点（※評価基準）
<p>1. 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>たのしくみたり，あそんだり できるさくひんのくふうを しよう。</p> </div> <p>2. 自分の作品で工夫することを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○各グループ，前時のアドバイスを 受けて今から工夫することを 発表する。 <p>3. 自分の作品を仕上げる。</p> <p>4. できあがった作品を代表児に紹介してもらう。</p> <p>5. 「今日の学習で」を書き，発表する。</p> <p>6. 次時は出来上がった作品を紹介しあうことを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の写真を提示することで，どんな工夫をしようと思っているのか振り返りをさせる。 ○ 事前に教師の方で子どもたちがどんな工夫を考えているのか把握しておく。 ○ グループごと前で簡単に発表させる。 ○ 各グループの発表を簡単に黒板にまとめる。 ○ 話し手の方を向いて最後まで話を聞いている人や分かりやすい話し方をしている子どものよさを具体的に知らせる。 ○ 発表でわかりにくいところは教師の方で補足する。 ○ みんなで遊ぶ時に看板やルール，見所が書いてあるとわかりやすいことを知らせる。 ○ 必要と思われる材料と道具を準備する。 ○ 机間巡視をして作り方でとまどっている人の支援をする。 ○ 発表を生かした教えあい活動ができるように助言する。 ※ アドバイスを生かした工夫をすることができる。 ○ アドバイスを受けて作ったところを特に教えてもらう。 ○ どんな作品になったか楽しみにしていることを伝える。 ○ 次時の予告をする。

5. 板書計画

あきいっぱい〇〇〇ランドをつくろう。

めあて
アドバイスをいかして，わくわくするものに仕上げよう。

前時のアドバイスを
している写真

各グループの今日の活動計画（工夫するところ）

本時学習活動案（22／24）

公開授業Ⅱ

1. 本時の目標

- 「あきいっぱい〇〇〇ランド」で友だちと楽しく交流することができる。
- 遊びの説明や作品の紹介を友だちにすることができる。
- 今日の活動をふり返り、自分や友だちのよさに気づくことができる。

2. 本時の支援にあたって

本時の仮説

遊びの説明や作品を紹介する活動の場で、国語科で学習した「はっきりと話す」「話し手の方を向いて聞く」を生かすことで、友だちの工夫したところやよさに気づき、楽しく活動することができるであろう。

前時までに、子どもたちは「あきいっぱい〇〇〇ランド」で楽しく遊ぶために、グループの友だちと協力しながら、作品づくりや場づくりに取り組んできた。

本時は、いよいよ「あきいっぱい〇〇〇ランド」で楽しく遊ぶ時間である。そこで、本時の支援にあたっては、友だちに分かるように説明をしたり聞いたりすることで、楽しく活動できることを体験させたい。このために、本時を前半・後半に分け、交代でお世話係とお客さんになり、楽しく活動に参加させる。実際の活動にあたっては、〇〇〇ランドのマップを持ち、活動した後にスタンプをおしてもらおう。その時に、お客さんになった子どもが、お礼・感想などを伝えることで、お世話をした子どもたちに満足感（喜び）を味わわせたい。さらに、お世話係りの子どもは説明がうまくでき、友だちが楽しく遊ぶ様子を見ることも喜びになるように支援していきたい。

本時の小中連携教育の視点

本時は、国語科で培った話す・聞く系統表の「相手に分かるように具体物を使って話す」「話し手の方を向いて聞く」を生活科の学習の場に運用する。この力は、中学年話す・聞く力に発展していくための基礎となるものである。

3. 準備

（教師） 約束をかいた紙、生活科カード、〇〇〇ランドのマップ（掲示用、児童用）

グループ用スタンプ、補修用のテープ、のり、マジック等

（子ども） 自分たちの作品、お店の説明やゲームの説明の表示

バンダナ（お世話する時に着用する）

生活科カード

4. 本時の展開

学習活動と内容	支援・指導上の工夫と留意点
<p>1. 本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="225 297 683 394" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あきいっぱい〇〇〇ランドで、 たのしくあそぼう。</p> </div> <p>○ あそぶときの約束をする。</p> <div data-bbox="225 450 732 642" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ せつめいするひとはなしをきく。 ○ かんそうをいってスタンプをもらう。 ○ おんがく（はじめ、おわり）のあいずをまもる。 </div> <p>2. 各グループの説明を聞く。 「楽器をつくりました。」 「まとあてゲームです。」</p> <p>3. 「あきいっぱい〇〇〇ランド」で楽しく遊ぶ。</p> <p>○ お店、お客さんに分かれて楽しく活動する。（前半・後半）</p> <p>4. 今日の活動のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科カードに書く。 ○ 発表をする。 ○ 次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の活動を確認し、本時の活動の意欲を持たせる。 お店・・説明やお手伝いをがんばる。 協力し合う。 お客・・説明をよく聞き活動する。 よさ、楽しさを伝える。 ○ 〇〇〇ランドのマップを見せて、各グループの場所を確認させる。 ○ 説明の仕方や聞き方の助言をする。 「これで遊ぶとおもしろいよ。」 「どうやって遊ぶか教えます。」 ○ 作品の補修を手伝う。各グループに行くように子どもたちを誘導する。 ○ 友だちの作品のよさや楽しかったことを伝えたり、書かせたりする。

5. 板書計画

あきいっぱい〇〇〇ランド		
<p>やくそく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はなしをきく。 ・ かんそうをいう。 ・ おんがくのあいず ・ たのしく 	<p>あきいっぱい〇〇〇ランドで たのしくあそぼう</p>	<p>1-3 あきいっぱい〇〇 〇ランドマップ</p>
<p>きょうのがくしゅうで</p>		